山形新聞　夕刊
2009年（平成21年）9月5日（土曜日）

きょうの紙面
2面　民主が親族の公設秘書も大量新人誕生で苦肉の策
3面　好評の若がえり体操教室 山形市が新たに企画
4面　映画「アドレナリン」続編
5面　蜷川幸雄が9時間の舞台
7面　文化・相次ぐ鉄道本創刊
6面　意見のページ

発行所　山形新聞社　〒990-8550 山形市旅篭町2-5-12　電話　代表023(622)5271
©山形新聞社 2009
ご購読のお申し込み〈9～17時〉 0120-81-8040

季のうた

仙厓の○と口よ窓の月

山元志津香

禅の世界ではまん丸い円を月にたとえることがある。江戸後期の画僧・仙厓（せんがい）も一筆描きの円に賛して次の歌を記す。「大虚になけて捨てたる影見れハ思ひ切たる秋の夜の月」と。大虚は大空、そこに月を投げ捨てたようだ、と無心の境地を詠む。仙厓の禅画には○のほか△や□も描く。○は禅、△は真言、□は天台の意もあるが、掲出句は□の窓を通して見た円相の月に参じての無心の句か。「八千草」主宰。

村上護（作家・評論家）

芸術シーズン、力作ずらり
県美展、こども県展開幕
山形美術館

第64回県総合美術展（県美展）と第51回県こども絵画展（こども県展）が5日、山形市の山形美術館で開幕した。県美展は日本画、洋画、彫刻、工芸4部門の入賞・入選作など494点を展示。工芸部門の岩城博之さん(34)＝山形市＝が、ブロンズ「翅（はね）」で3年連続最高賞の快挙を果たし話題を集めたほか、芸術シーズンを感じさせる力作が並ぶ。こども県展では、県内の園児、小中学生の入賞・入選作789点を紹介。この日はオープンと同時に多くのファンが詰め掛けた。

ホームページに動画

上オープン直後から多くの美術愛好者が訪れ、多彩な作品を鑑賞している 左関係者がテープカットし開幕した県総合美術展＝山形市・山形美術館

開幕に先立ち美術館で行われた開展式で、県総合美術展会長の相馬健一山形新聞・山形放送相談役が主催者を代表して「県美展は県内最大の公募展。スタート以来、県民の美意識のよりどころとなってきた」とあいさつ。来賓の吉村美栄子知事が「県美展、こども県展が本県の文化振興に果たしてきた功績は極めて大きい」と述べた。引き続き吉村知事、相馬相談役、黒沢洋介山形新聞社長、園部稔山形放送社長、加藤千明山形美術館長、工藤道汪県美術連盟運営委員長、吉田明県造形教育連盟会長がテープカットした。

県美展最高賞の県展賞は岩城さんのほか、日本画が金内操さん(71)＝鶴岡市＝の「ショッピング」、洋画が柏倉千賀志さん(54)＝山形市＝の「雪」、彫刻が舘石茂さん(53)＝飯豊町＝の「進退虫」。こども県展には、過去最高となる1万3040点の応募があり、身近な世界を生き生きと切り取った作品を展示している。共に山形新聞、山形放送、県美術連盟、山形美術館、巡回展開催地教育委員会の主催。

同美術館で23日まで展示する（7日は開館）。25日からは米沢市を皮切りに、県内9市町を巡回する。

ドコモ 米本格進出
自社ブランド 海外で初展開 高性能携帯で攻勢
来年中にも

【ニューヨーク共同＝美濃口正】NTTドコモが米国で携帯電話事業を本格的に展開する方向で検討に入ったことが4日分かった。関係者が明らかにした。携帯電話向けインターネット接続サービス「iモード」を軸に、海外で初めてドコモブランドを展開、来年中の進出を目指す。

日本の携帯事業が頭打ちとなる中、世界最先端の機能を盛り込んだ日本の高性能端末を武器に金融危機後も成長を続ける米市場に攻勢をかける。

2007年に米電子機器大手アップルが「iPhone（アイフォーン）」を投入したのをきっかけに、米国ではインターネット接続を重視した「スマートフォン」と呼ばれる高機能端末の人気が急上昇中。十分市場開拓が可能と判断した。

関係者によると、米携帯大手の既存通信網を活用した仮想移動体通信事業者（MVNO）としての進出などが検討されているという。MVNOの形を取る場合には通信方式が同じで、ドコモの米国法人と提携関係にある、AT&TグループかTモバイルと組む可能性が高い。これまでは現地事業者への出資や提携を通じて技術・サービスを提供する形が中心だった。

NYにサポートデスク

【ニューヨーク共同】NTTドコモは4日、日本からの旅行者らを対象に携帯電話の充電サービスや故障時の支援などを日本語で行う「サポートデスク」をニューヨークに開設した。こうした海外の直営の拠点はハワイ、ロンドンにもある。

マンハッタンの中心部、ミッドタウン地区の「紀伊国屋書店」内に設置。携帯電話の紛失や盗難時の回線停止手続き、海外での操作方法の説明などに加え、日本に帰国する駐在員や留学生向けに新規契約も受け付ける。

日系携帯会社の米国事業　米国ではKDDIが日本人駐在員や留学生などを主な顧客として、米携帯会社の通信網を活用した仮想移動体通信事業者（MVNO）として進出。NTTドコモはグアムで子会社を通じて携帯事業を展開、本土ではこれまで日本企業向けに米携帯会社の端末を販売してきた。新たにニューヨークに「サポートデスク」を設置。日本人旅行者らの支援のほか、米在住日本人向けに米携帯電話の販売も始めた。ソフトバンクモバイルは拠点を置いていない。

仮想移動体通信事業者（MVNO）　自前で通信網を持たず、無線ネットワークや中継網を既存の携帯電話事業者から借りて携帯電話サービスを提供する事業者。初期投資を抑制できるため新規事業者が参入しやすい。欧米では広く普及している。日本ではウォルト・ディズニー・ジャパンがソフトバンクモバイルのネットワークを借りて始めた例などがある。（ニューヨーク共同）

「ガラパゴス」に好機か

【ニューヨーク共同＝美濃口正】あまりの高性能ぶりに海外で受け入れられず「ガラパゴス」とやゆされたこともある日本の携帯電話端末を武器に、NTTドコモが米国に本格進出する。

米国市場はこれまで通話中心の安価な端末が人気だった。激しい価格競争が繰り広げられ、高性能だが高価な日本の端末には参入の余地はないとみられていた。

ところが、2007年に米アップルが投入した「iPhone（アイフォーン）」が米国の高性能携帯市場に火を付けた。こうしたインターネット接続を重視した端末は「スマートフォン」と呼ばれ、「今後市場が爆発的に急成長するのは確実」（米ハイテクアナリスト）とみられている。

今後は高性能競争に入る可能性が高くなり、ドコモ幹部は「絶好の参入タイミング」と自信をみせる。

さらに米国には価格を気にせず、最先端の電子機器を購入する消費者が存在しており、ドコモはまずこうした層をターゲットに足場を固める戦略だ。

欧州でもスマートフォンの人気は高まりつつあり、中国でもアイフォーンの投入が決まっている。高性能端末の人気拡大とともに、日本製の携帯電話が世界に進出する可能性もありそうだ。

NY株が続伸
前日比96ドル高

【ニューヨーク共同】4日のニューヨーク株式市場のダウ工業株30種平均は、雇用情勢の底打ちへの期待感から幅広い銘柄が買われて大幅続伸し、前日比96・66ドル高の9441・27ドルで取引を終えた。

ハイテク株主体のナスダック総合指数は35・58ポイント高の2018・78。

8月の米雇用統計は、失業率が約26年ぶりの高水準に上昇したが、就業者数の減少幅が縮小した。このため急激な雇用情勢の悪化に歯止めがかかったとの見方が広がり、製造業やハイテク関連などが積極的に買われた。

最近の上昇傾向に対する警戒感も根強く、ダウ平均は下落に転じる場面もあった。

市場関係者は「雇用統計を受けて、米経済の先行きへの懸念が後退、買い安心感が上昇を支えた」（米アナリスト）としている。

土曜コラム マルチアングル

ヒロコ・ムトーさん「心の宅急便」
〝生きる勇気〟届けたい

吉野 剛朗論説委員

最近、不登校やひきこもりの解決にと一生懸命に活動する若者を見聞きして、とても頼もしいと思っている。それも20代半ばの、本当は自分の楽しみを追求したい年齢のはずなのに。何が若者を突き動かしているのか。正直よく分からない。だが現実に、登校拒否の中学生や高校生と一緒に畑を耕したり、フリースクールを開いて高校卒業のための検定試験のアドバイスをしたり。県内各地で若者同士のきずなができつつある。

◇

そんなことを考えているとき、1冊の本が手元に舞い込んだ。

作家ヒロコ・ムトーさんが書いた「心の宅急便―生きることの素晴らしさを伝えたい」

中経出版から先月末に発行されたばかりのこの本は、88歳から作り始めた小さな豆紙人形でパリ市民を驚嘆させた目の不自由な老母と、いじめを優しさで乗り越えたまな娘の出来事がつづられている。同時に現代の「教育」に鋭い視線を投げかけている。それが実に率直に描かれている。

どんな学校だって多かれ少なかれいじめはある。苦しんでいる子供がいっぱいいる。行政や教育が登場すると、すぐ「いじめ撲滅」などというスローガンを掲げたりするが、たった1人でもいい、そして1人でも多く、生きる力と勇気をつかんでほしい。そんなメッセージが力強く伝わってくる。

◇

ムトーさんは秋田の出身だが、10歳まで山形に住んでいた。山形市の地蔵町（今の七日町）に家があったそうで、東原幼稚園を卒業し、小学5年生まで山大付属小学校に通った。その後東京に引っ越し、現在は横浜に住んでいる。

「山形が私のふるさとだと思っています。今でも同窓会に呼ばれたりしているんですよ」

当時の同級生たちと別れるのが辛くて、親に駄々をこねた。朝起きると一面の雪。その道をサクサクと歩いたのをよく覚えているという。足跡一つない清らかな世界が、大人になってもずっと心に焼きついている。何か迷いがあって、自分が真っ白な心になりたいときは、いつも「山形の雪景色」を思い出していたそうだ。

そのムトーさんが今年5月、山大付属中に「朗読講演―心の宅急便」を届けに訪れた。

◇

「心の宅急便」は2007年11月から始まった。作詞やミュージカル作家として活躍してきたムトーさんが、仲間とともに詩の朗読やハープの演奏などを交えながら講演活動に回っている。伝えたいのは「生きる」ということ。そして「いじめ」を克服してほしいということ。関東、関西、東北などの小中高校で18回を数える。

いくつもの病魔と闘いながらも絶対にあきらめず、パリで3度の豆紙人形展を成功させた母親マサコ・ムトーさんの人生をつづった「手のひらのしあわせ」（PHP研究所）を朗読し始めたのがきっかけだ。そしてある中学校で1人の少女の絵手紙に出合う。

◆

友達にならない？
どこでかけられたかは覚えてないけれど
一年くらい日がたった今でも
このあたたかい言葉は心に響いて私から離れることはない
あのとき私は「いいよ」って
サラリと言ったけれど
本当はすっごく
うれしかったんだ

◆

いじめに悩む少女が「友達にならない？」という二言で自分を取り戻したことを書き留めた詩だ。この詩はムトーさんが娘を励まし続けた「あなたがいい」の詩とともに「心の宅急便」のメッセージソングになった。訪問した学校や地域から輪が広がり、合唱祭や卒業生を送る会で歌われている。

◇

いわゆる「不登校」の小中学生が全国で12万人以上もいる。2008年度の本県は、中学生の不登校率が過去最高になった。だが希望はある。1人でも2人でもいいから「友達にならない？」と声を出せる子供が増えてほしい。ムトーさんは呼び掛けている。

口笛

◉…芸術の秋、県美展開幕。日本画など4部門の秀作一堂に。こども県展も。身近な世界を絵で生き生き表現。

◉…ドコモ携帯、米国市場に本格進出へ。インターネット重視の高性能端末で攻勢。米国民の反応やいかに。

◉…新人議員の秘書確保に民主党苦肉の策。禁止の親族採用に道開く？　自民・失職組の採用には二の足。

◉…人気です、若返り体操教室。家でできる体操アドバイス。転倒防止や認知症予防。元気で長生きが一番。

山形新聞ホームページ　web http://yamagata-np.jp　携帯 http://yamagata-np.jp/k/
読者センター　Eメール：dokusha@yamagata-np.jp　TEL：023-622-5666
おすすめ▶ 燃えよ モンテディオ